

本番にあたっての制約(お願い)

(ステージ全般)

照明	<p>動くスポットライトは使用できません</p> <p>※ 固定のスポットライトは使用できますが、数に制限があるので、全て希望通りにはできません バックの色は基本的には照明スタッフが曲を聴いて考えますが、要望があれば記入して下さい 曲のイメージ(明るい、暗い、早い、遅い等)がわかると助かります 基本的に、照明はスタッフに任せてください</p> <hr/> <p>◎ 本番当日の変更はできませんので、よろしくお願いします</p> <p>◎ 舞台資料が揃い次第、プランをたてます。その中で要望に応えられる限りのことをしますので、要望はなるべく書いておいて下さい。(なければ結構です)</p>
-----------	--

音響	<p>使用できるマイクの本数は.....</p> <p>唄用(お囃子・ナレーション・詩吟等)がWLマイク5本／基本的に高いスタンド(多少変化します) 楽器用(琴・三味線・尺八等)が有線マイク5本／基本的に低いスタンド(多少変化します)</p> <p>※ 楽器用マイクは、唄には使用できません</p> <p>※ 唄用マイクは、楽器には使用できません</p> <p>モニタースピーカーは必ず用意してあります(音を出します) 音楽テープ(MD・CD・CT)を使用する場合、必ず期限までに文化協会へ提出してください (提出していただいたテープはMDIに録音しなおしますので、なるべく音の良いテープをお願いします)</p> <p>※ 本番・リハーサル当日はカセットデッキは使用できないので、当日カセットテープの変更、追加はできません 本番・リハーサル時、音楽を流すタイミングはスタッフに合図をして下さい</p> <hr/> <p>◎ 本番当日の変更はできませんので、よろしくお願いします</p> <p>◎ 舞台資料が揃い次第、プランをたてます。その中で要望に応えられる限りのことをしますので、要望はなるべく書いておいて下さい。(なければ結構です)</p>
-----------	--

舞台	<p>最初と最後の舞台転換はスタッフがお手伝いします</p> <p>途中の舞台転換は、出演者の方でお願いします(マイクの移動・イスの移動等) 立ち位置はなるべく、舞台前部・中央寄りで計画してください(照明の都合上) 舞台上のバミリ(立ち位置にテープ)はしませんので、リハーサル時に各自で憶えておいて下さい (舞台中央の印は付けておきます)</p> <p>※ 例外として固定スポットを使用する場合、セットをおく場合、その位置に印つけます(バレエ・舞踊等) イス・机は数量に限りがあります(イス30脚・机10本) 電源が必要な場合も、舞台資料に書いておいて下さい 舞台上の転換時は、基本的に暗転(照明を暗くする)にします 緞帳を使うのは、開演時、休憩時、終演時ですが、演出上どうしても使用したい場合(日本舞踊等)は 舞台資料に書いておいてください 片付けのためだけには緞帳は降ろしません 映写機関係(OHP・スライド等)を使用する場合は、操作する人を出演者側で用意してください</p> <hr/> <p>※ 舞台資料に必ず曲ごとの出・ハケ(板付・上出・下出)(板終・上はけ・下はけ)、出演人数、使用備品 曲名を書き込んでください。(資料をもとにプランを立てるので)</p> <hr/> <p>◎ 本番当日の変更はできませんので、よろしくお願いします</p> <p>◎ 舞台資料が揃い次第、プランを立てます。その中で要望に応えられる限りのことをしますので、要望はなるべく書いておいて下さい。(なければ結構です)</p>
-----------	--

※提出していただいた資料でわからない事がありましたら、スタッフの方から連絡することがあるかもしれません。

※舞台・照明・音響でわからない事がありましたら、文化センター舞台スタッフまで、連絡してください。

文化センター 舞台スタッフ